

<平成 26 年度>

政策企画部の取り組み実績

都市戦略室政策企画課
都市戦略室広報課
秘書課
市民相談課
人権政策室

■ 基本方針 ■

市民満足度を高め、「住みたい・住み続けたいまち」から「市民が誇れるまち」へと飛躍していくために、長期的な視点に立った行政運営を行うとともに、市の情報を広く発信し、市民の声を的確に市政に反映していくことが必要です。

また、恒久平和の実現やまちづくりにおける一人ひとりの人権の尊重は普遍的に取り組まなければなりません。

平成 26 年度は、まちづくりの長期的基本指針となる総合計画の策定に本格的に取り掛かるとともに、広く市民の声を聴き、その声を施策につなげていきます。合わせて、市民生活に関わる様々な情報や都市ブランド「健康医療」「教育文化」にかかわる施策を幅広いメディアを活用して市民や市外の人に分かりやすく伝えることができるよう、全庁的な情報発信力の向上をめざします。

また、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代に伝えるため、平和施策を進めるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組み、さらに、性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現をめざし、周知・啓発に取り組めます。

I 重点施策・事業

◆第5次枚方市総合計画の策定

長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的な行政運営を行うため、平成 28 年度を始期とする第5次枚方市総合計画の策定に引き続き取り組みます。

実績

- ・前年度から引き続き、市民によるまちづくりワークショップを開催し、その結果を報告書としてまとめた。(平成 26 年度は全 8 回のうち 3 回実施)
- ・第 4 次総合計画第 2 期基本計画の進捗状況を作成した。
- ・転入・転出者にアンケート調査を実施するとともに、転入・転出に係る社会動態の状況をまとめた。
- ・総合計画審議会を 6 回(第 2 回～第 7 回)及び部会を 4 回開催した。また、12 月には基本構想(試案)を取りまとめ、市議会へ報告した。

◆広報機能の充実

市ホームページ スマートフォン専用サイトの開設や視覚的に見やすいデザインページの作成、速報性や手軽さといったホームページの特性を活かす取り組みを進めるとともに、情報の整理を行い、欲しい情報を見つけやすいホームページをめざします。また、昨年に引き続き各課職員対象の操作研修を実施します。

実績

- ・スマートフォン専用サイトを開設し、子育て・高齢者のサイトを視覚的に分かりやすいデザインに改善するとともに、トップページを見やすく探しやすいデザインにリニューアルした。また、全職員対象の操作研修(初級・中級・教職員編)を実施した。(参加人数延べ 202 人)

広報ひらかた 幅広い世代に広報紙を読んでももらえるよう、平成 25 年度に引き続き子どもや若者などが手にとってもらえるような紙面づくりを行うとともに、記事の分類など読む人が情報を探しやすい紙面づくりに努めます。

実績

- 子ども・家族向けコーナー「ひらかた偉人伝」の連載を開始した。子ども向け特集として選挙の大切さを伝える特集を掲載した。また、お知らせ面の分類を変更して表紙に目次を出すなど情報をより探しやすい紙面作りに努めた。

情報発信リーダー 情報発信リーダー会議や研修を通して各部署の情報発信力を強化し、市の施策や魅力、イベント情報などの積極的かつ効果的な発信に取り組めます。

実績

- 各部の情報発信力の強化のため、ツイッターの積極活用や効果的なプレスリリースの方法、ひらかたパーク職員による PR 戦略に関する講演など研修会を 2 回実施した。

情報発信に関するアンケートの実施 市民 3000 人を対象に広報紙やホームページをはじめ FM ひらかた、ケーブルテレビなど情報発信ツールの活用や傾向について総合的なアンケートを実施し、分析結果を今後活かしていきます。

実績

- 市民 3000 人を対象にアンケートを実施し、報告書をまとめ、ホームページで公開した。

◆ひらかた便利帳の発行



中核市移行に伴い 5 年ぶりにひらかた便利帳(写真)を発行し全戸配布します。民間事業者との共同発行により広告収入で経費を賄います。窓口や手続き案内に加え、市の魅力や地域の医療情報、防災情報なども掲載。保存版として、これまで以上に市民に役立ち喜ばれる冊子をめざします。

実績

- 便利帳を 19 万 5000 部作成し(点字・録音版含む)、全戸配布を行った。内容について、行政情報に加え枚方の歴史や四季のイベント、都市ブランドの取り組みなどを掲載。スマートフォンをかざすと動画が浮かび上がる AR 機能も導入し、市民に興味を持ってもらえる紙面作りに努めた。

◆市民と市長との対話の実施

市民との対話を重ねながらまちづくりを進める取り組みとして、さまざまな活動をしている団体と市長が対話する「ひらかた未来トーク」を実施し、引き続きより幅広い市民との対話を進めていきます。

実績

- 地域の様々な場面で活動する団体等に呼びかけを行い「ひらかた未来トーク」を 8 回実施した。

◆人権施策及び平和施策の推進

人権が尊重されるまちづくりの実現に向け、より多くの市民が、人権問題を身近に感じ考える機会となるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。

また、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えるため、3月1日が枚方市平和の日であることから、3月を平和月間と位置づけ平和フォーラムや平和の燈火（あかり）を中心とした平和推進事業を展開します。



児童が平和メッセージを発表する様子

実績

- ・自らの生き方を語る連続講座「生きること」や映画会を実施した。また、人権週間事業と北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を併せて実施し、市民の人権意識に大きく働きかけることができた。（参加人数1,962人）
- ・枚方市平和の日である3月1日に平和フォーラムを実施した。また、3月1日に実施してきた「平和の燈火（あかり）」を東日本大震災が発生した3月11日に実施することで、平和への願いとともに震災復興への願いを枚方から広く全国へ向けて発信することができた。（参加人数約1,700人）

◆男女共同参画施策の推進

すべての市民が性別にかかわらず尊重され、仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会をめざして、さまざまな啓発事業や相談事業に取り組みます。また、平成28年度を始期とする第3次枚方市男女共同参画計画の策定に向けて、その基礎資料となる市民意識調査を実施します。

実績

- ・幅広い市民の参加を目指して講座内容等を工夫し、男女共同参画週間事業などの各種啓発事業を実施した。（参加人数1,683人）
- ・男女共生フロア・ウィルで実施している、女性のための各種相談事業では、1,132件の相談があった。
- ・第3次枚方市男女共同参画計画について、平成26年8月に男女共同参画推進審議会へ計画策定を諮問した。
- ・市民意識調査を成人2,000人、小中高大学生1,731人に実施し、報告書をまとめ、ホームページで公開した。

◆DV被害者の支援

潜在的な被害者の救済にもつながるよう、DV相談窓口カードの配布協力施設を増やし、公用車等にマグネット広告を掲示するなど、枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」の一層の周知・啓発に取り組むとともに、連絡会議や支援者講座を通して関係機関や地域の支援者との連携を強化します。

実績

- ・DV相談窓口カードを、市内各医療施設や市内大型店舗に設置し周知に努めた。また、DVに関する相談件数は前年度と比べて約1.2倍となった。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
1. 広報機能の充実	SNS についてはツイッターによる情報発信をより積極的に行う。ホームページはスマートフォン専用サイトの開設や視覚的にデザインした魅力あるサイトへの改善など利用者ニーズを考えた改善に取り組む。広報ひらかたでは引き続き若者を対象とした記事を掲載し、市政に興味を持つきっかけ作りとする。

実績

- ・ツイッターの手動発信は前年度比 1.4 倍の 296 件。フォロワー数は 1 年間で約 900 人増の約 3500 人となった。また、災害時などの緊急時にプッシュ通知ができるツイッターアラートを導入した。（登録者は 312 人）
- ・ホームページは、スマホ専用サイトおよび子育て・高齢者デザインサイトを開設した。
- ・広報ひらかたは、子ども・家族向けコーナー「ひらかた偉人伝」の連載を開始し、2 月号で子ども向け選挙特集を掲載した。

改革課題	取り組み内容・目標
4. 広聴機能の充実	前年度に整理を行った市政モニタリング制度を庁内各課に周知していく。

実績

- ・効果的なアンケートができるよう、整理した市政モニタリング制度を年度当初に庁内各課に通知し、周知を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
5. 新たな情報の提供サービスの開始	ダイヤルイン運用開始後の状況等を踏まえ、本市におけるコールセンター設置に係る費用対効果を明らかにし、導入に向けた具体的内容を取りまとめる。

実績

- ・コールセンターの導入に向け、コストメリットの検証を行うとともに、同センター導入実施方針策定に向けた課題の整理、具体的内容の検討を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
6. 施策評価制度の確立	これまで蓄積してきた情報等を有効に活用するなど事務の効率化と評価の充実を図る。また、外部評価員からの意見を次期総合計画策定につなげる。

実績

- ・これまで蓄積してきた市民意識調査の結果を活用するなど事務の効率化を図るとともに、市民意識調査結果や施策指標の推移が分かるグラフの挿入など、より分かりやすい施策評価シートへ改善した。
- ・これまでの施策評価の結果や外部評価員からの意見を総合計画審議会の基礎資料として活用した。

改革課題	取り組み内容・目標
15.新総合計画の策定	第5次枚方市総合計画の策定に向けて、引き続き取り組みを進める。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度から引き続き、市民によるまちづくりワークショップを開催し、その結果を報告書としてまとめた。(平成26年度は全8回のうち3回実施) ・第4次総合計画第2期基本計画の進捗状況を作成した。 ・転入・転出者にアンケート調査を実施するとともに、転入・転出に係る社会動態の状況をまとめた。 ・総合計画審議会を6回(第2回～第7回)及び部会を4回開催した。また、12月には基本構想(試案)を取りまとめ、市議会へ報告した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
16.施策における「選択と集中」のシステムづくり	施策単位の課題を確認できる様式への変更や事業計画公開時には表示を工夫するなど、昨年度試行した内容を踏まえ本格実施を行う。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズ等を踏まえた施策評価の結果などを次年度の事業計画の決定につなげるとともに、事業計画の公開にあたってその反映内容をよりわかりやすく表記するなど工夫を行った。 	

改革課題	取り組み内容・目標
29.外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の中期的な「経営プラン」を平成27年度までに策定するよう求めていく。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の中期的な「経営プラン」を平成27年度までに策定するよう要請した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
30.都市間連携の充実	市民サービスの向上につながる広域連携の取り組みについて、近隣の自治体との意見交換や先進事例の研究に努める。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・北河内7市で構成する北河内都市連絡会において、広域連携の取り組みについて意見交換を行なった。 	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
市内高等学校長・市長懇談会事務	実績とその成果を検証し、取り組み内容を検討する必要があると指摘を受け、この間、市内の中学校と高校との連携が個別で進んでおり、本事業の役割は果たしたことから、廃止した。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の中学校と高校との連携が個別で進み、全体の議論から具体的な取り組み段階へと移行したことから、本事業を廃止した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
市政モニター実施事業	IT 媒体を利用した簡易で迅速に結果が得られるアンケートの検討が必要との指摘については、携帯電話やスマートフォンを活用する簡易なアンケートを実施する。また、モニター実施後の意見の施策への活用についての指摘については、事業の改善や充実に結び付けていけるよう、事業の改善点や課題にかかる調査項目の設定を促す。さらに、整理を行った市政モニタリング制度を庁内各課に周知していく。

実績

- ・携帯・スマホアンケートについては、2回実施した時点でメールの誤送信により個人情報漏洩したため一旦休止し、平成27年度からの再開に向け再発防止策を構築した。
- ・市民の意見を事業の改善や充実に結び付けていけるよう、各課の事業の改善点や課題にかかる調査項目の設定を促した。
- ・効果的なアンケートができるよう、整理した市政モニタリング制度を年度当初に庁内各課に通知し、周知を行った。

事務事業	取り組み内容・目標
市民相談事業	相談メニューや内容などに關し精査が必要との指摘があったが、様々な悩みを持つ市民が安心して生活を送れるよう、引き続き、増加する複雑多様な相談に他機関と連携を図りながら対応していく。

実績

- ・大阪弁護士会や大阪司法書士会など他機関と連携を図り、様々な市民の相談に迅速に対応した。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発事業を行うにあたり作成するポスターやチラシの印刷枚数を、過去の配布実績を元に精査し、コスト削減に努める。 ・消灯の徹底、パソコンを使用しない時は、蓋を閉めることや電源プラグを抜くことなどに努める。

実績

- ・啓発事業のポスターやチラシの印刷枚数について、過去の配布実績を元に枚数を精査し、環境負荷の低減につなげた。
- ・昼休み時や勤務時間外の際の消灯、パソコンの蓋を閉めることなどを徹底した。

テーマ	取り組み内容・目標
ワークライフバランスの推進	ワークライフバランスを推進するため、効率的な事務執行を図り、時間外勤務の縮小に努める。

実績

- ・子育てなどの両立ができるよう職員各自が業務を効率良く遂行することを心がけ、業務の質・量を落とすことなく時間外勤務時間の削減に取り組んだ。部の合計で、前年度比 364 時間減となった。

テーマ	取り組み内容・目標
業務効率の向上	職場の整理整頓を行い、業務効率の向上に努める。

実績

- ・日頃から職場の整理整頓を心がけ、文書については、課員が必要なものを必要な時に利用できるよう業務の効率化を図った。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆平成 26 年度予算の編成において、FMひらかた放送委託料を対前年度比 311 万円削減

実績

- ・放送委託料は前年度比で 311 万円削減した。

- ◆広告収入で発行経費を賄う形で便利帳を発行。印刷・配布経費を伴う形で便利帳を発行した平成 19 年度比で約 1300 万円の削減

実績

- ・広告収入で経費をまかなう形で発行。A 4 版カラー164 ページ。広告数 338 件。19 年度比で約 1300 万円の削減となった。

- ◆安定した広告収入の確保（予算ベース）
市政情報モニター 年間約 250 万円
バナー広告 年間約 169 万円
広報ひらかた広告 年間約 574 万円

実績

- ・市政情報モニターは約 250 万円、バナー広告は約 360 万円、広報ひらかた広告は約 770 万円（合計約 1380 万円）の収入を確保した。

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆災害時の情報発信体制をより確実なものにするため、昨年度作成した情報発信方法などについての詳細マニュアルを見直すとともに、ホームページの操作方法の研修などを実施します。

実績

- ・災害対応マニュアルについては、見直しを行い部内で共有し、災害時の情報発信体制をより確実なものとした。

- ◆部内各課の重点事業についての研修会を開催し、市の業務に対する幅広い知識や視野の向上を図ります。

実績

- ・市の業務に対する幅広い知識や視野の向上を図るため、各種研修会に部内職員が積極的に参加した。
- ・「市民対応について」をテーマとした部内研修会を実施した。
- ・「分かりやすい文章の作り方」をテーマとした部内研修会を実施した。

- ◆ホームページの充実

フォトニュースなど広報課職員が直接取材した催しなどは原則、翌日までに掲載するよう努めるなど、より迅速な情報発信に努めます。

実績

- ・フォトニュースの迅速な発信に努め、前年度より 12 件増の 46 件掲載した。

- ◆DV相談窓口の周知

DV相談窓口カード（写真）の配布協力施設等を増やし、公用車等にマグネット広告を掲示するなど、枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」の一層の周知に努めます。



実績

- ・DV相談窓口カードを、新たに市内各医療施設や北部、東部地域の大型店舗に設置した。また、マグネット広告を 148 台の公用車に掲示し、周知を図った。

- ◆「市長室へようこそ」の充実

写真とともに市長の公務の様子を紹介している「フォトレポート」について、更新回数を月 1 回から 2 回に増やし、市長の動向や考えをより迅速に発信していきます。

実績

- ・「フォトレポート」について、更新回数を月 2 回に増やし、市長の動向や考えのより迅速な発信を図った。